



▶みんなで昼食を楽しみます

12月22日(土)、押平中央集会所を活用し、子どもからお年寄りまで自由に集える居場所「共に生きる なごみの里」がオープンしました。この日は、押平女性会により赤飯や豚汁など昼食会に提供する料理が準備され、参加者20人に振舞われました。参加者からは「これまで集まる場がなかったが、このような場所ができてよかった」と声が聞かれました。この交流の場は週1〜2回、12時から15時ごろまで開放が予定されています。

今後は、地域内外で特技を持つておられる方を講師に招き、お茶会、体験・防災学習や健康体操などを企画しています。



▲押平女性会の皆さん

共に生きる なごみの里

押平女性会

押平女性会

代表 吉原 美智恵さん
インタビュー



この取り組みも始まったばかりで、まずは定着させることに力を入れます。男性が集まれるよう積極的にPR活動にも取り組みたいです。押平だけでなく他の地域にもこの取り組みが広がればいいと感じます。

地域住民が気軽に集える

「交流の場」がオープン!

種原自治会女性会、交流の場大山みらい塾に続き、押平地区で交流の場が開設されました。また、大山口駅前のふれあい茶論 弥生の風では、内装を一部改修しリニューアルされました。



▲畳スペースが完成

ふれあい茶論

弥生の風

弥生の風

会長 提嶋 敏江さん
インタビュー



弥生の風は皆さんの協力と支え合いのもと、開館から10年を迎えることができました。新たに改装した場所を活用し、家に閉じこもっている方や、一人暮らしの方、多くの方々に集まっただき、それぞれの生きがいを見つける場、皆さんのよりどころとなればと思います。

1月7日(月)、大山口駅前の「ふれあい茶論 弥生の風」が畳スペースを設置して、リニューアルオープンしました。毎週月曜日から金曜日の10時から15時ごろまで実施されているふれあいサロンの中のさまざまな手仕事や健康体操に活用されます。畳スペースにはこたつもあり、和気あいあいと更にとゆったり交流ができるようになりました。

外出支援の一助となるようにと取り組みが進められます。

▶ふれあいサロンでゆったりと